

第九次 基本計画

基本計画の見方

政策目標 ①

やさしさと笑顔にあふれる健康なまち

政策目標 ②

安全・安心で快適なまち

政策目標 ③

心豊かな人を育み、生涯にわたって学習できるまち

政策目標 ④

場の力が創造する魅力・活力のあるまち

構想の推進

(まちづくりを進めるために)

基本計画の見方

1-1 やさしさと笑顔にあふれる健康なまち 地域医療の充実

将来像を実現するために実行する政策の柱です。このようなまちになることを目指します。

現況と課題

国民健康保険加入者の医療機関別受診状況をみると、入院患者の半数以上が市外の医療機関を利用しています。このため、身近なところで、質の高い、より専門的な医療を受けることができるよう建設を進めている新しい市立

地域全
あり、市
る機能
療機関

が重要で
対応でき
与する医

市立伊
定的な
にわた
な経営

当該分野の施策を進めるに当たって、平成22年度時点での現状と課題について、市民と行政が認識を共有するため、簡潔に記述したものです。

保し、安
中、将来
安定的

市立伊
外搬送
速な救
立伊集
は、迅

による市
より、迅
長療と市
集なとき

観光立

端を担う必要があり、そのためには、市民のみならず、観光客にも対応できる病院機能の整備、特に健診機能などの充実を図ることが必要です。

チームの一

目 標

当該分野において、本市が目指していきべき目標です。

成果指標

市内医療	・当該分野の達成状況を測る指標です。平成22年度を基準として現況値を測定するとともに、計画期間の中間年度（平成27年度）と最終年度（平成32年度）の目標値を設定しています。	%
市内医療	・各目標値は中間年度と最終年度において達成状況を測定し、その結果を後期計画における見直しや次期総合計画の策定に活用します。	%

目標を実現するための具体的な方策

方 策	概 要
1 高度な医療機能を備えた新病院の整備	より高度で、より専門性の高い医療機能を備えるとともに、市民の健康保持、保健予防などにも対応した市民の医療需要に応えることができる病院を整備する。
2	病状等に応じて適切な医療が受けられるよう、医師会と協力して、市
3	り医療を充実
4	内で完を担う救急医
5 施設整備	光客の利用も考慮した、医観連携の推進に資する健診機能の整備に努める。
6 災害医療体制の充実	新病院は、災害医療の機能の整備と従事する医療スタッフを養成することで、災害拠点病院の指定を目指し、災害時の医療の確保を図る。

当該分野の目標を実現するための取組を示したものです。

市民の皆さんと一緒に進めていく方策

市立伊 管理運 市民代	<ul style="list-style-type: none"> ・当該分野の目標を実現するために市民との協働により行う取組を示したものです。 ・なお、ここでいう市民は、個人だけでなく、自治会やボランティア団体、NPO、企業など、様々な主体を含んでいます。 	の組 る意見
-------------------	--	-----------

【城ヶ崎】



大室山が噴火した際に溶岩が海に流れ出して、形成された溶岩岩石海岸で、海岸線には絶壁が連なり、幾重にもふところ深く入り組んだ岩礁、岬から岬へと続く眺めは壮観。

門脇崎灯台を中心に全長約9kmのハイキングコースがあり、なかでも門脇崎の海の吊り橋は長さ48m、高さ23mでスリル満点。